

| | |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

| | | | |
|----------------|--------------|----|-------------|
| ○事業所名 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 2月 18日 | ～ | 令和 7年 3月 3日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 42 | (回答者数) 11 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 2月 18日 | ～ | 令和 7年 3月 3日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 7年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 毎月SST週間を設け、プログラムが固定化されないよう様々なトレーニングを行っている。 | 児童一人ひとりの特性に合わせてそれぞれ強みを引き出して成長に繋がれるようにプログラム（指先トレーニング・体幹・ビジョントレーニング）を行っている。 | 今後も続けていく中で改善点を見つけ、個々の能力に合った取り組みが出来るよう努めていく。 |
| 2 | 大きく分けて3つのスペースに分かれており、フロアごとに静～動の活動と状況に合った過ごしやすい場を提供している。 | ボルタリングやアスレチック、フィットネスバイクなどのトレーニング器具もあり遊びの中で楽しみながら運動機能を向上 PC数台設置、タブレット有。本も充実しており個室で落ち着いて過ごすこともできる。 | 児童の意見も取り入れつつ飽きのこないよう日々アップグレードし、より楽しく安心して過ごせる場を提供していく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--------------------------------------|
| 1 | 避難訓練を実施しているが、実施日にご利用がある児童のみの体験になっており一部の児童が実際の避難訓練（外への避難場所までの避難する訓練）を体験できていない。 | 全通所児童に実施を行いたい学校等と異なり週1のご利用の児童もいれば週5日のご利用の児童もいるので難しい。 | 保護者に取り組みについて説明を行いご理解、ご協力が得られるように努める。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | たけのこクラブ大楠 | | | | 公表日 2025/3/14 | | |
|--------------------------------------|--|---|---------------|-----|-------|---------------|---|--|
| | | 利用児童数 42 | | | | 回収数 11 | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・とても広いと思う | ・大きく分けて3つのスペースで活動を行っており、静の活動、動の活動と過ごしやすく工夫をしていく。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 91% | 0% | 0% | 9% | ・多いと思います | ・配置基準を満たしているが、手厚い支援を行えるように努力を行っていく。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・安全にご利用いただけるよう配慮しているが今後必要に応じて対応していく。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・日々消毒、清掃を行っている。スペースごとで活動を分けてより過ごしやすい環境を目指していく。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・理解してくれ助かります | ・個々の特性を理解し支援を行っていく。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・支援プログラムに沿った支援が出来るよう努めていく。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・理解し作成していただいている | ・日々保護者様と情報共有を行いより良い計画書が作成できるよう努める。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・児童1人ひとりの発達段階やねらいに合わせた課題や活動を考えていく。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・計画書を基に支援、活動内容を決定していく。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・色々レクなどあって満足してかえってきてます | ・これからも様々なSSTや戸外活動等を行っていく。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 64% | 9% | 9% | 18% | | ・系列店舗との交流は行っているが、その他の交流も今後検討していく。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・丁寧に教えていただきました。 | ・今後も丁寧に説明を行っていく。 |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・わかりやすい説明を心がけていく。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 82% | 0% | 0% | 18% | | ・研修会などがあれば情報提供を行っていく。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・いつも報告いただいている | ・送迎時やお電話で気になる様子や課題などをお伝えしているが、必要に応じて会議などの機会を設けていく。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 91% | 9% | 0% | 0% | | ・面談やお電話などの機会が設けづらい保護者様に関しては書面等工夫をし対応していく。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・そう思います | ・今後も利用者様に寄り添った支援が出来るよう努めていく。 |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 45% | 0% | 10% | 45% | ・わからない | ・療育会にて不定期で行っているが開催頻度について検討していく。また、毎年どなたかに出席し保護者同士の交流機会を設けている。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|------|----|----|----|-------------------------------------|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・担当窓口を設置しご説明している。お話があった際は状況に応じて適切に対応していく。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・今後も状況に応じて適切に対応出来るよう努めていく。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 91% | 0% | 0% | 9% | ・色々なイベントがあって行事予定をいつも楽しみにしています | ・毎月の予定表やイベント詳細など必要に応じてプリント配布を行っているが、今後はより詳しく伝えることが出来るように努力していく。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 91% | 0% | 0% | 9% | | ・設備を整え厳重に管理している。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・各マニュアルを作成しご契約時に説明を行っており定期的に訓練も行っている。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・訓練した日、子供が避難の仕方を教えてくれ感心しました | ・定期的に各災害の訓練を行っている。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・安全計画を作成しそれに沿った対応を行っている。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | | ・怪我等発生した際は速やかにご連絡、ご説明を行っているがそのような事案が発生しないよう努めていく。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・とても安心しています | ・今後も安心して過ごせる場所を提供出来るよう努めていく。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・とても楽しみにしています | ・児童の意見も取り入れながらより主体的な活動を提供出来るように工夫をしていく。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 100% | 0% | 0% | 0% | ・とても助かっています ・安心して預けることができ満足しています | ・これからも出来る限りご要望にお応え出来るよう努めていく。 |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | たけのこクラブ大楠 | | 公表日 2025年3月14日 | | |
|----------|----|--|------|----------------|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100% | 0% | ・用途で場所を使い分けている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 100% | 0% | ・児童の特性や状況に応じて適切に配置している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 100% | 0% | ・衝撃吸収のマットや突起物の保護など怪我につながらないように配慮している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 100% | 0% | ・清掃チェック表を用いて消毒、清掃を行っておりフロアごとで活動を分けてより過ごしやすくなるよう対応している。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100% | 0% | ・児童の状態を把握しながら必要に応じて個室等使えるようにしている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 86% | 14% | ・定期的に行う職員会議の場で業務の振り返りや課題点を挙げるとともに改善方法等について全体で協議している。 | ・児童の安全と精神的安定を優先し意識が薄くなっている事がある為見直していく。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・活動内容や個別対応など児童の特性に合わせた支援となるよう努めている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・月に1回行う職員会議や個別に話す機会も設けている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・療育会を行いアドバイスもらっている。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100% | 0% | ・毎月実施している。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100% | 0% | ・公表されている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 100% | 0% | ・児童の様子に留意し保護者様のニーズを含め作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100% | 0% | ・関わる職員全体で検討を行っている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 100% | 0% | ・会議や個々に機会を通して共有していき計画に沿っての支援を行っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 100% | 0% | ・児童に合ったものを使用している。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100% | 0% | ・「5領域の支援」についてのガイドラインの内容を確認し児童の支援に必要な項目を適切に設定するよう努めている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 100% | 0% | ・日々チームで話し合っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100% | 0% | ・SST週間では毎日違うプログラムを実施している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 100% | 0% | ・個別に支援が必要な内容と小集団での支援内容を分けて記載している。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|------|---|---------------------------------------|
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 86% | 0% | ・予測できる児童の行動について話し対応の仕方やスタッフの配置などを確認している。 | ・新人のスタッフ等へも行き届くようしっかり共有していく。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 86% | 14% | ・トラブル等があった際は職員間で話し合いを行い再発防止に努めている。 | ・一部スタッフでしか行えない場合もあるため多く参加出来るよう調整していく。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100% | 0% | ・各児童の活動を必ず記録している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100% | 0% | ・6か月に一度モニタリングを行い必要に応じて見直している。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・ガイドラインに沿った様々な活動を行っている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・自分の言葉が自分で考えられるように選択枠を工夫して支援を行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100% | 0% | ・関わりの深い職員が参画出来るよう職員体を工夫している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100% | 0% | ・協力医療機関と連携し体制を整えている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100% | 0% | ・電話や送迎時などに情報交換をし、必要に応じて会議を行っている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 100% | 0% | ・必要性がある場合は情報共有するよう努めている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 100% | 0% | ・必要な児童には情報共有できる体制を整えている。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 43% | 57% | | ・連携強化の体制作りを検討していく。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 57% | 43% | ・系列店舗との交流を行っている。 | ・系列店舗以外の児童と関わる機会も検討していく。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 0% | 100% | | ・積極的に参加できていないが情報収集し必要に応じて参加していく。 |
| 保護者への説明等 | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100% | 0% | ・送迎時やお電話にて気になった様子等お伝えしている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 100% | 0% | ・外部講師による療育会が行われている。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100% | 0% | ・ご契約時に行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100% | 0% | ・面談、電話連絡、書面を通して意向を確認している。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100% | 0% | ・面談後署名同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100% | 0% | ・ご相談があればその都度適切に対応している。 | |
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 100% | 0% | ・療育会にて不定期に行っている。毎年出場しているどなたかにて交流機会を作っている。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100% | 0% | ・保護者様の意見を聞き状況説明、今後の改善策をお伝えしている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100% | 0% | ・HPでイベントの様子を掲載、月ごとの行事予定を配布している。 | |

| | | | | | | |
|---------|--|---|------|--|---|---|
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100% | 0% | ・設備を整え厳重に管理している。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100% | 0% | ・筆談やメモ、具体例を挙げた伝え方など相手に合わせた方法を取り入れている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 28% | 72% | ・毎年どんたくへの参加、地域の餅つき大会やお祭り等あった際は参加することがある | ・系列店舗合同でのバザーを行っている為、地域の方を招待することも検討していく。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100% | 0% | ・各マニュアルを作成し定期的に見直し周知している。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100% | 0% | ・BCPを策定、各災害を想定し定期的に訓練を実施している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100% | 0% | ・前もって服薬や症状を確認し適切な対応がとれるようにしている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100% | 0% | ・必ず保護者様に聞き取りし対応している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100% | 0% | ・定期的に研修、訓練を行っている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 100% | 0% | ・契約時に説明し連携が取れるようご協力いただいている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100% | 0% | ・毎月ヒヤリハット事例を出し共有している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100% | 0% | ・定期的に会議を行いケースに応じて適切な対応が出来るようにしている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 100% | 0% | ・毎月会議にて対応について話し合い職員間で共有、保護者様にも了解を得た上で対応している。 | | |